

【第1分科会】環境・平和教育  
「原水禁長崎大会」から学んだこと



「福井原子力センターあっとほーむ」の戸田一郎さんが、実験を交えながら放射能についてわかりやすく講義。放射能の有効性や危険性について説明し、知識を持つことの重要性を話しました。

【第2分科会】人権・共生教育  
相手も自分も大切に  
コミュニケーションを学ぶ

自他尊重の心を育てるアサーションについて、福井県教育研究所の鈴木俊邦さんが、具体的な場面を想定して演習形式を盛り込みながら解説。学校現場ですぐに応用できる内容が、参加者に好評でした。



【第5分科会】健康教育  
手のひらから感じる  
子どものころ



整体ボディワーカーの山上亮さんが、腹痛や出血、打撲、熱性けいれんなど子どもによくあるトラブルについて、「愉氣(ゆき)」と呼ばれる整体の手法による対処法を実演しました。

【第6分科会】食教育  
日本の食文化を伝えていこう

地元「しょうゆ博士」による出前授業が行われ、製造方法の説明や、醤油や酢の香り・味比べなどを体験。食育、ふるさと教育やキャリア教育の題材として広く活用できそうとの声が聞かれました。



# 学び合い、 子どもたちに

## 第64次 教育研究福井県集会



子どもたちの心に響く教育の実践と共有・研究、そして家庭、学校、地域の連携の重要性を再確認しようと、福井県教職員組合主催の教育研究集会が勝山市で開催されました。教職員や保護者、地域の人など約700人が参加。専門家などを迎えた12の分科会で、授業や学級経営、教育支援のヒントを探りました。

【第3分科会】PTA・地域住民との連携  
よしもと芸人「クレヨン」が語る これからの福井

「クレヨン」の2人が、笑いを交えながら「これからの福井」についてそれぞれの思いを語りました。参加者からは、「地域の良さを発掘し、若い人たちにとって魅力あるまちにすることが大切」との声があがっていました。また、勝山市内の小中学校による実践発表があり、保護者や地域からの参加者とのグループ討議が活発に行われました。



【第7分科会】教育相談と心の問題  
たった30秒でできる「色」のコミュニケーション!



色の持つ効果を生活に取り入れて、「集中力」「想像力」「コミュニケーション力」などの“生きる力”を育てようという「色育(いろいく)」を、演習形式で体験。「色育」は色をツールとして相手と交流し、お互いに尊重し合える関係を築くことが目的。学校での教育相談に活用できるとあって、熱心に質問したりメモを取る姿が見られました。

**FTU** 子どもたちの未来を、もっとよくする  
福井県教職員組合 〒910-8544 福井市大手2-22-28 福井県教育

# 深め合って よりよい教育環境を。

日時/11月8日(土) 会場/勝山市立 勝山南部中学校



全体講演

## 地球のステージ2 ～国境を越えて～

講師: 桑山紀彦氏  
(NPO法人 地球のステージ代表)

「紛争、災害、貧困の地の子どもたちと音楽と映像で近づく」と、1996年から始まったコンサート。国際医療支援活動を行ってきた医師・桑山紀彦氏が、大画面の映像とともに自らの体験を語り、歌うステージに、大きな感動の拍手が起こりました。

【第4分科会】教育条件整備と学校財政  
「校外学習」の計画から会計まで

校外学習の候補地として「勝山ジオサイト」「かつやま恐竜の森」「ゆめお〜れ勝山」を貸切バスで見学。化石の発掘体験やまゆ玉クラフトによる雪だるまづくりを行いました。校外学習について、計画の立て方や進め方、引率時の注意点、会計処理などについて、学校でのアドバイスがあり、校外学習に役立てようとして熱心に学んでいました。



【第11分科会】今日的課題研修  
自然と人が元気になる「ふるさと学習」とは



福井県里山里湖研究所の福島空さんが、ふるさと教育の意義や県内での取り組みについて紹介。岡山県西栗倉村西栗倉小学校の鳥越巖之教諭が、総合的な学習の時間として学校全体で取り組んだ「ふるさと元気学習」について話しました。自分たちの地域の自然や人を知ることで、子どもたちの生きる力や学ぶ力が育ち、ふるさとでも元気になると訴えました。

ために。福井県教職員組合は活動しています。  
センター内 電話 0776-23-1887 ファクス 0776-23-2919 <http://www.ftu.or.jp/>

【第8分科会】特別支援教育  
障害理解教育の指導と取り組み



小浜市立加斗小学校の村田俊男教諭が、小浜市の小中学校で実践されている障害理解教育について報告。勝山市立成器西小学校の松村千里教諭が発達障害児の理解とユニバーサル教育について話しました。

【第9分科会】教科(英語)  
Let's enjoy English!

英米との文化の違いや、場面に応じた受け答えなど英語に関するさまざまな質問に、ALTと英語塾講師が答えました。英語の歌やゲームの紹介などもあり、授業で使える教材を学ぶことができました。



【第10分科会】教科(社会)  
デジタル黒板を活用した  
授業について



デジタル教科書の使い方や効果について業者から説明を受け、持ち寄った資料から実際にデジタル教材を作成。大野市立陽明中学校の加藤裕司教諭が、自作のデジタル教材での実践例を発表しました。

【第12分科会】母と女性教職員の会  
子どもたちの  
しあわせな未来のために

「地域」を共通テーマに、4つの小学校での取り組みが報告されました。地域との関わりや地域への発信など、学校教育とも連携する様々な課題について、保護者と共に考え議論しました。

